

新進音楽家の若き才能の輝きを見つけ
人材の育成とクラシック音楽の啓発を目的とするコンクール

第29回

コンセール・マロニエ21

Concert. 21 Marronnier 21

音楽コンクール

対象部門 金管楽器

本選



2025年

10月13日(月・祝)

12:30開場・13:00開演
16:30結果発表・表彰式(予定)

第24回(金管楽器) 第1位 石丸菜菜

栃木県総合文化センター メインホール

主催 公益財団法人とちぎ未来づくり財団・栃木県

コンセール・マロニエ21開催に寄せて



栃木県知事 福田 富一

「第29回コンセール・マロニエ21」の本選が盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

本コンクールは若き音楽家の皆様の才能を発掘し、その飛躍を後押しする貴重な機会であり、今年で29回目を迎えました。全国から多くの優れた演奏家が集うこの舞台が、今年も「とちぎ」の地で開催できますことを、心より喜ばしく思います。

また、栃木県が全国に誇る文化事業である本コンクールを主催する公益財団法人とちぎ未来づくり財団並びに快く審査をお引き受けいただいた審査員長の沼野雄司先生をはじめ、音楽界の第一線で御活躍される審査員の皆様に厚く御礼申し上げます。

本県では、心豊かな県民生活と活力ある地域社会の実現に向け、「栃木県文化振興基本計画（第2期）」において、「とちぎの文化を担う人づくり」を重要な柱のひとつとして様々な施策を推進しております。本コンクールは、その理念を体現するものであり、次代の音楽文化を担う人材の育成に大きく貢献するものと確信しております。

御出場の皆様におかれましては、本コンクールを契機として更なる高みを目指され、将来、日本はもとより世界で活躍するトップアーティストとして、再びこの「とちぎ」の地で、演奏していただけることを楽しみにしております。

結びに、貴財団の益々の御発展並びに本日御出場の皆様の御健勝と益々の御活躍を祈念しまして、お祝いの言葉といたします。



コンセール・マロニエ 21 審査員長

音楽学者 沼野雄司

コンクールにはさまざまな側面があります。

まず、圧倒的に素晴らしいのは、誰もが参加できる開かれた場である、という点です。もしもコンクールがなければ、多くの若い音楽家の卵たちは、どうやって自分の存在を世に知らしめたらよいのか分からず、偉い先生に後押ししてもらったり、やみくもに「営業」したりせねばならないでしょう。言うまでもなく、それは音楽の本質的な部分ではありません。コンクールという場を勝ち抜くことによって、自然に世間に注目され、多くの人にその存在と個性を開示できるという点で、この制度はきわめて平等かつ民主的なものだといえてよいと思います。

一方で、コンクールにはさまざまな危険が潜んでいます。例えば、コンクールで入賞することが自己目的化してしまうというケースを時々見ますが、本来、音楽家の目的は「良い音楽」を奏でることにあるのですから、入賞そのものがゴールになってしまったら本末転倒です。また、1位を得たことで慢心してしまったり、逆に入選を逃して自信を失ってしまったりするのも考えものです。コンクールというのはあくまでも、その日、その時に審査員の目にとまった人が多くの点数を得るものにすぎず、音楽家としての深い部分、本質をすべて測ることなど不可能だからです。

ゆえに、何より大事なことはコンクールの美点をしっかりと意識し、享受する一方で、危険もきっちりと認識しておくことです。そうすればコンクールは、若い音楽家にとって、きわめて有益な糧として、未来への切符として働きます。

審査員である私たちが常に心掛けているのは、この審査が単に若い人に優劣をつけるためのものではなく、むしろ音楽の世界へ力強く送り出すための場である、ということです。本年も、その思いを改めて胸に刻みながら、本選に臨みたいと考えております。

最後になりましたが、この企画に携わるすべての皆様に、心からの感謝と敬意を表し、ご挨拶とさせていただきます。



演奏曲目・出場者プロフィール

トランペット

村松 夕芽



Yume Muramatsu

ウラディーミル・ペスキンの作曲 トランペット協奏曲 第1番 ハ短調

昭和音楽大学弦管打楽器コース卒業。

トランペットを奥山泰三氏に師事。室内楽を在原豊、服部孝也、大倉滋夫の各氏に師事。

第26回 KOBE国際音楽コンクール金管楽器C部門 最優秀賞、並びに兵庫県知事賞受賞。

欧州文化首都European Youth Music Festival REMIX22に参加。

現在、昭和音楽大学附属音楽教室講師、洗足学園音楽大学演奏補助要員、川崎競馬口ジータプラス'25メンバー、相模原音楽家連盟会員。

伴奏：辻 英恵

トロンボーン

山下 純平



Junpei Yamashita

ニーノ・ロータの作曲 トロンボーン協奏曲

東京藝術大学を卒業したのち、ドイツへ留学。

ベルリン ハンス・アイスラー音楽大学を経て、ヴュルツブルグ音楽大学にて修士課程を修了。

コットブス・ブランデンブルク州立歌劇場にて1年間、常客演奏者として多くの公演に参加。

現在、ぱんだウインドオーケストラ トロンボーン奏者。クルトワ・ジャポン メンバー。

その他プロオーケストラへの客演や、ソロ、室内楽、TV、アニメのレコーディング等で活動。

これまでにトメル・マシュコフスキー氏（ドイツ・ベルリン交響楽団バストロンボーン奏者）、藝大フィルハーモニア管弦楽団、九州交響楽団と共演。

松永憲二、石川浩、古賀慎治、オラフ・オット、アンドレアス・クラフトの各氏に師事。

伴奏：城 綾乃

トロンボーン

藤島 裕也



Yuya Fujishima

ラウニ・グレンダールの作曲 トロンボーン協奏曲

熊本県合志市出身、10歳からトロンボーンを始める。

熊本ユースオーケストラOB。

第13回 日本トロンボーン学生音楽コンクール独奏部門 第1位。

卒業時に東京音楽大学卒業演奏会に出演する。

これまでにトロンボーンを新田幹男氏、岡本憲昭氏、野々下興一氏の各氏に師事。

伴奏：城 綾乃

チューバ

角田 幸司



Koji Tsunoda

ヤン・クーツィールの作曲 チューバと弦楽オーケストラのための
コンチェルティーノ Op.77

京都府宇治市出身。9歳よりチューバを始める。

第23回 日本ジュニア管打楽器コンクール 金賞。

これまでにチューバを山口真理子、中村一廣、池田幸広、佐藤和彦の各氏に師事。

室内楽を栃本浩規、古賀慎治、日高剛、中山隆崇の各氏に師事。

またAndreas Martin Horneir氏のマスタークラスを受講。

現在、東京藝術大学音楽学部器楽科チューバ専攻3年次在学中。

伴奏：城 綾乃

チューバ
藤田 裕人



Yuto Fujita

ヤン・クーツィール作曲

チューバと弦楽オーケストラのための
コンチェルティーノ Op.77

北海道札幌市出身。

北海道教育大学岩見沢校卒業。

第13回 秋吉台音楽コンクールチューバ部門 第5位受賞。

第7回 JETA学生ソロコンクールチューバシニア部門 第4位受賞。

PMF2025に参加。

チューバを玉木亮一氏に師事。

伴奏：大川 香織

トロンボーン
野田 改勝



Kaishi Noda

ラーシュ=エリク・ラーション作曲

トロンボーンと弦楽オーケストラのための
コンチェルティーノ Op.45-7

京都府出身。

中学校の吹奏楽部でトロンボーンを始め、京都市立京都堀川音楽高等学校を卒業。

第21回 関西トロンボーン協会コンクールヤングアーティストソロ部門 第2位

第9回 豊中音楽コンクール管楽器部門 第1位。

第38回 京都芸術祭音楽部門「世界に翔く若き音楽家たち」に出演及び、奨励賞受賞。

これまでに、湯浅篤史、古賀慎治、石川浩の各氏に師事。

現在、東京藝術大学音楽学部器楽科トロンボーン専攻1年次在学中。

伴奏：城 綾乃

ホルン
宇名根 叶多



Kanata Unane

ジェーン・ヴィネリ作曲

ホルン・ソナタ Op.7

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学を卒業。

卒業時に同声会賞、アカンサス音楽賞を受賞。

日本ホルン協会主催 第1回 オーケストラオーディション・コンクール 第1位。

第92回日本音楽コンクール ホルン部門入選。

これまでに、深沢仁、日高剛、梁川笑里、木川博史、勝俣泰、豊田実加、五十畑勉の各氏に、室内楽を日高剛、辻本憲一、三界秀実の各氏に師事。

現在、兵庫芸術文化センター管弦楽団コアメンバー。

伴奏：益子 徹

トランペット
黒田 希美



Nozomi Kuroda

ウラディーミル・ベスキン作曲

トランペット協奏曲 第1番 ハ短調 より 第1楽章

埼玉県出身。10歳よりトランペットを始める。

第16回 日本管弦打楽器ソロ・コンテストにて金賞、及びグランプリ・クリスタルミューズ賞受賞。

第43回 全日本ジュニアクラシック音楽コンクール金管部門 第4位。

これまでにトランペットを田中敏雄、長谷川潤、依田泰幸の各氏に師事。

室内楽を上原宏、田中敏雄の各氏に師事。

2024年 浜松国際管楽器アカデミーにてロバート・サリバン氏のマスタークラスを受講。

2025年 同アカデミーにてイエルーン・ペルワルツ氏のマスタークラスを受講。

現在、桐朋学園大学に2025年度特待生として3年次に在学中。

伴奏：林 浩子



審査員プロフィール

審査員長

沼野 雄 司



Yuji Numano / 音楽学者

東京藝術大学大学院博士課程修了。博士（音楽学）。現在、桐朋学園大学教授、学部長。2008年から2009年、および2020年から2021年にかけてハーバード大学客員研究員。著書に「トーキョー・シンコペーション 音楽表現の現在」（音楽之友社）、『音楽学への招待』（春秋社）、『現代音楽史 闘争しつづける芸術のゆくえ』（中公新書、第34回ミュージック・ペンクラブ賞）、『孤独な射手の肖像 エドガー・ヴァレーズとその時代』（春秋社、第29回吉田秀和賞）、『リゲティ、ベリオ、ブーレーズ 前衛の終焉と現代音楽のゆくえ』『ファンタメンタルな楽曲分析入門』（いずれも音楽之友社）、『光の雅歌 西村朗の音楽』（春秋社、共著）、『日本戦後音楽史 上・下』（平凡社、共著）など。国内はもとより、アメリカ、中国、オランダ、リトアニア、ジョージア（グルジア）、アイルランドなど多数の国際学会で発表。また、読売新聞紙上で毎月演奏会批評及びCD批評を執筆する他、神奈川芸術文化財団芸術参与、サントリー音楽賞審査員、アフィニス文化財団専門委員、三井住友海上文化財団専門委員、せたがや文化財団評議員などの各種役を務める。

審査員

水野 信 行



Nobuyuki Mizuno / ホルン

長野県須城市生まれ。1970～75年、ドイツ、デトモルト音楽大学で学ぶ。谷中甚作、M.ツィラー、M.ヘルツェル、H.バウマン、P.ダムの諸氏に師事。ロンドン王立音楽院でアソシエート・ディプロムを取得。アーヘン市立歌劇場オーケストラ（1975～80）、及びバンベルク交響楽団（1980～2003）では、首席ホルン奏者として活躍。日本では、マエストロ 小澤征爾のもと、サイトウキネン・オーケストラ、水戸室内管弦楽団で長年にわたりトップ奏者として貢献。草津国際音楽アカデミー & 音楽祭にも度々講師を務め、多くのソロや室内楽に参加。33年間のドイツ滞在に終止符を打ち、2003年に帰国。東京音楽大学教授、沖縄県立芸術大学講師、東京藝術大学講師を歴任。現在も特別招聘教授として、東京音楽大学、および同大学附属のオーケストラ・アカデミーで、後進の指導を続ける。

審査員

長谷川 潤



Jun Hasegawa / トランペット

13歳よりトランペットを始め、16歳よりトランペットを田宮堅二氏に師事。1988年桐朋学園大学を卒業後、ドイツ学術交流協会の給費留学生として、ヴェルツブルグ音楽大学大学院に進み、H・エルプ氏に師事。1992年シュテークマンコンクール第3位入賞、1994年日本人トランペット奏者として初めてドイツ国家ソリスト資格（MEISTER DIPLOM）を得る。同年イタリア・ボルツァーノで行われた金管楽器コンクール第1位入賞。1990年、1992年、1994年のサイトウキネン・オーケストラに参加。1995年に帰国し、読売日本交響楽団に首席奏者として入団。読売日本交響楽団とハイドンのトランペット協奏曲、ヴィヴァルディの2本のトランペットのための協奏曲などをソリストとして協演。2015年4月N響、都響、読響の首席奏者を中心に編成された金管アンサンブル「ザ・プラス・プリンシパル・ジャパン」にメンバーとして、演奏会、CD録音に参加。その活動は多岐にわたる。第81回（2012年）、第84回（2015年）の日本音楽コンクールトランペット部門の審査員を務める。現在、読売日本交響楽団首席奏者。また、桐朋学園大学音楽部教授として、後進の指導にもあたっている。

審査員

古賀 慎治



Shinji Koga / トロンボーン

トロンボーン奏者、東京藝術大学音楽学部教授。

東京藝術大学音楽学部卒業後、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京都交響楽団を経て現職。

1985年「第2回日本管打楽器コンクール」トロンボーン部門第1位受賞。1987年「プラハの春国際音楽コンクール」トロンボーン部門ファイナリスト及びディプロマ賞受賞。1987年佐賀県音楽協会新人賞受賞。1995年旧奏楽堂、翌1996年佐賀市文化会館にてリサイタルを開催。2001年NHK-FM「名曲リサイタル」

に出演。2019年 from Dシリーズリサイタル出演。

トロンボーンを三好隆三、永濱幸雄、神谷 敏、アロイス・バンブーラの先生方に師事。

現在、東京藝術大学音楽学部教授、新日本フィルハーモニー交響楽団契約首席トロンボーン奏者、日本大学芸術学部音楽学科講師、ドルチェミュージックアカデミー講師、東海大学付属高輪台高等学校吹奏楽部トレーナー、日本トロンボーン協会常任理事。

審査員

佐藤 潔



Kiyoshi Sato / チューバ

1959年 群馬県高崎市生まれ

1983年 東京藝術大学卒業。

1984年 世界チューバ協会主催の学生ソロコンクールに入選。

1985年 南カリフォルニア大学に留学、同大学専攻科修了。

1986年 第3回日本管打楽器コンクール、第2位入賞（1位なし）

数々の都市で行われた世界チューバ協会のカンファレンスにゲストソリストとして参加。

2006年 紀尾井ホールでリサイタル「佐藤潔TubaConcert低音の魅力」を開催し、好評を得る。

2010年 サントリーホールにてマルティン・スモルカ作曲「チューバのある静物画あるいは秘められた静寂」をソリストとして東京都交響楽団と共演。

1991年～2025年（公財）東京都交響楽団チューバ奏者を務める。

チューバを故大石清、多戸幾久三、故Tommy Johnson、故Roger Bobo、Jim Self、各氏に師事。

「東京メトロポリタンプラスクインテット」のメンバーとして活動。また「村田陽一とソリッドプラス」にも参加。映画やアニメのサウンドトラック、CM音楽、多くのアーティストのアルバムなど様々なレコーディングに参加。

現在、武蔵野音楽大学、昭和音楽大学非常勤講師。

第29回コンセル・マロニエ21【金管楽器部門】 応募・審査状況

(単位/名)

楽 器	申込者	動画審査合格者	オーディション合格者
ホルン	12	5	1
トランペット	24	8	2
トロンボーン	35	8	3
チューバ	43	12	2
計	114	33	8

結果発表・表彰式

16:30～17:00 (予定)

感動の瞬間に是非あなたもお立ち会ってください。

後日、栃木県総合文化センターホームページでも発表いたします。

URL <https://www.sobun-tochigi.jp/>



～コンセール・マロニエ21は若い音楽家を支援します～

とちぎ未来づくり財団主催事業への出演（2025年度）

9月21日



栃木県交響楽団特別演奏会



第28回(弦楽器)第1位 栗林衣李

5・6月、9月～11月



学校訪問演奏会
第18回(木管)第2位 山本楓



学校訪問演奏会
第21回(声楽)第3位 上田純子

2月1日 開催予定



フレッシュアーティスト ガラコンサート
今回第1位受賞者出演予定
写真は2021年度のチラシ
(2022/1/23開催)

『コンセール・マロニエ 21』は、広く参加者を募ります（在住地・国籍は問いません）。

第30回

2026年 コンセール・マロニエ21のお知らせ

- | | |
|---|--|
| <p>I 対象 木管楽器（フルート、クラリネット、オーボエ、ファゴット）</p> <p>II 日程</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事前審査受付 2026年 5月～ 6月 ●動画審査(第一次) 2026年 7月上旬 ●オーディション(第二次) 2026年 8月29日(土) ●本選・表彰式 2026年10月31日(土) <p>III 会場 栃木県総合文化センターメインホール</p> <p>※オーディション・本選のみ(動画審査は非公開)</p> | <p>IV 入賞者 支援</p> <p>とちぎ未来づくり財団が主催する各種演奏会への出演機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入賞記念ガラ・コンサート ・栃木県交響楽団特別演奏会のソリストとして出演 ・ランチタイムコンサート、リサイタル ほか <p>詳細は2026年3月頃発表の予定です。</p> |
|---|--|

上記の開催概要は都合により変更となる場合があります。

●お問い合わせ●

公益財団法人とちぎ未来づくり財団 文化振興課
〒320-8530 宇都宮市本町1-8 栃木県総合文化センター内
☎028(643)1010 メール tmf@tmf.or.jp

※「コンセール・マロニエ 21」は5部門(声楽・ピアノ・弦楽器・金管楽器・木管楽器)を順次開催しています。

栃木県は若い演奏家を支援します

主催 公益財団法人とちぎ未来づくり財団・栃木県

後援

- 栃木県教育委員会●下野新聞社●朝日新聞宇都宮総局
- 読売新聞宇都宮支局●毎日新聞宇都宮支局
- 産経新聞宇都宮支局●東京新聞宇都宮支局
- 共同通信社宇都宮支局●NHK宇都宮放送局●栃木放送
- エフエム栃木●とちぎテレビ

